

公的支援を積極的に活用し、海外販路拡大を図る企業 (株式会社 北辰フーズ)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:北海道江別市緑町西3-1-1
- 代表者:宮谷 将徳
- 資本金:7,000万円
- 売上高:8億3,072万円
- 従業員数:64名
- URL:<http://www.hokushinfoods.co.jp/>

①事業概要

<夕張メロンゼリー製造・販売>

同社は、昭和43年に北辰乳業(株)として創業、平成16年に現在の(株)北辰フーズとして設立され、現在に至っている。北海道の優れた素材を原材料にしたゼリーなど、様々な製品ラインナップにより販路を開拓。なかでも、昭和59年に夕張農業協同組合とのタイアップで開発された「シャーベリアスタ張メロン」は、完熟メロンの食感をも再現した高品質フルーツゼリーの原点として、高い評価と支持を得ている。

②海外展開概要

<香港、台湾への販路開拓>

海外展開については、物産展などのためのスポット輸出は実施していたが、国内市場情勢等を勘案した結果、海外展開が必要であると考え、平成18年度より行政機関等が実施するセミナーに参加。そこで東アジア市場が有望であると感じ、輸出の定番市場化に向けての取組を始めた。

平成21年、札幌で開催された商談会において、大阪の台湾系商社と商談が成立。台湾への輸出を開始し、平成22年以降は、香港フードエキスポにも継続的に参加し、現地との商談を成立させている。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

輸出展開にあたって、JETROや地元商工会議所等が提供している支援策(セミナーによる知識・情報収集、商談会・ミッションへの参加、英文レターの内容チェックなど)をそのステップに応じて積極的に活用。

輸出を行う際には、現地企業の信用、ビジネス慣習の相違、為替レートなどによる各種リスクを回避するため、「円建現金決済、入金確認後の商品発送、全品買取、工場渡し」を契約条件としている。この手法によりビジネスチャンスを逃す可能性があることは織り込み済み。また、現地との商談は自社で行うが、実際の輸出には商社や貿易会社を活用している。

④今後の事業展開について

現地商談会に参加した若手社員が刺激を受け、帰国後、中国語や英語の学習を始めるなど、海外展開に対する意識の変化が社内では現れてきている。また先般、北海道がフード・コンプレックス国際戦略総合特区に認定されたことも、同社の海外展開にとって追い風が吹いていると認識。

今後は、まだ眠っている食関連の資源による商品開発を行い、他のアジア圏での販路開拓を目指す。



▲同社の主力製品である
夕張メロンゼリー「シャーベリアス」